



理 由 書

本地区は、姫路駅周辺でＪＲ山陽本線等連続立体交差事業等により新たに発生する広大な用地を活用し、「広域圏の中核都市にふさわしい、にぎわいとうるおいにあふれた交流都心」の形成を目指す新しいまちづくりを計画するキャスティー２１区域の一部である。

このうち、本市の将来を担い、播磨の中核都市の都心にふさわしい高次都市機能の導入を図るメインエリアでは、平成２０年１２月のＪＲ山陽本線等の鉄道高架の完了により、南北道路の整備が大きく加速し、都心部における交通の円滑化と南北市街地の一体化が進展するとともに、鉄道施設跡地を活用した新しいまちづくりが本格化している。

このため、本市の玄関口として整備する姫路駅北駅前広場をはじめとするエントランスゾーンでは、新たに形成されるまちなみを将来にわたり担保するため、本案のとおり新たに地区整備計画を決定するものである。